

2024年3月期 通期 決算説明資料

2024年5月14日



証券コード：4461（東証プライム）
第一工業製薬株式会社

本日のアジェンダ



- 1. 2024年3月期 通期 連結決算** **P.3**
- 2. 2025年3月期 通期 業績見通し** **P.15**


1. 2024年3月期 通期 連結決算

連結 業績の概要（前期比較）



(単位：百万円)

	23/3月期	24/3月期	前期比増減	
			金額	増減率
売上高	65,081	63,118	△ 1,962	△ 3.0%
営業利益	1,186	2,077	891	75.1%
経常利益	1,200	2,060	859	71.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	△ 407	1,174	1,582	-

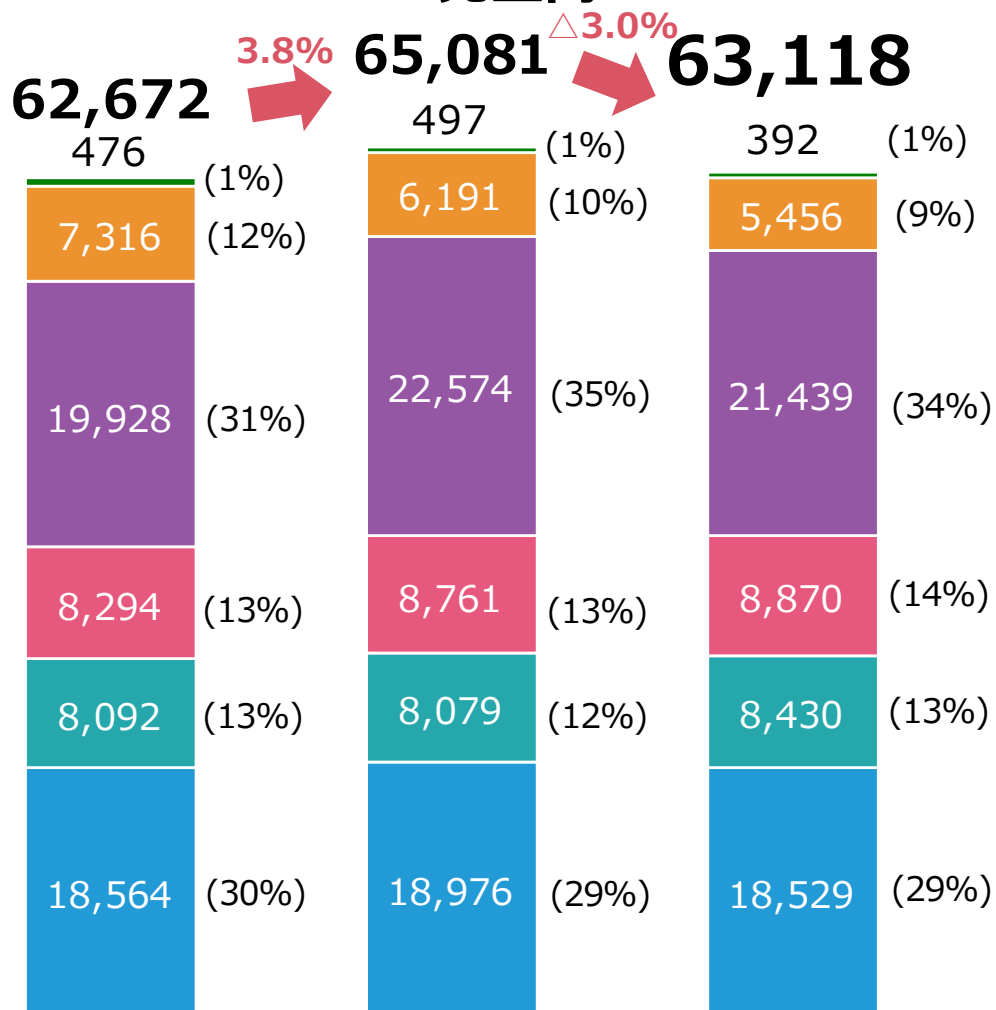
減収  売上高：市況回復の遅れ、海外向け難燃剤が大きく落ち込む

増益  営業利益：価格改定及び経費削減による収益性改善

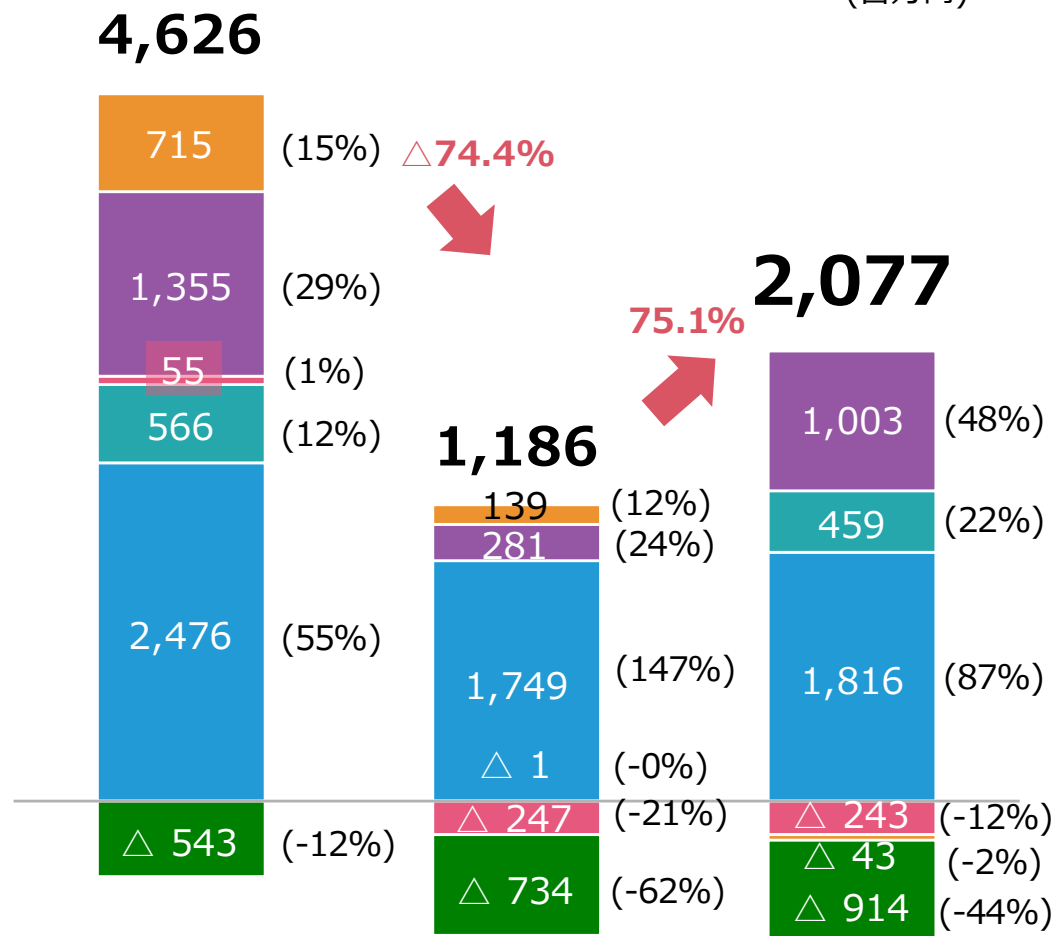
() : 構成比

(百万円)

売上高



営業利益

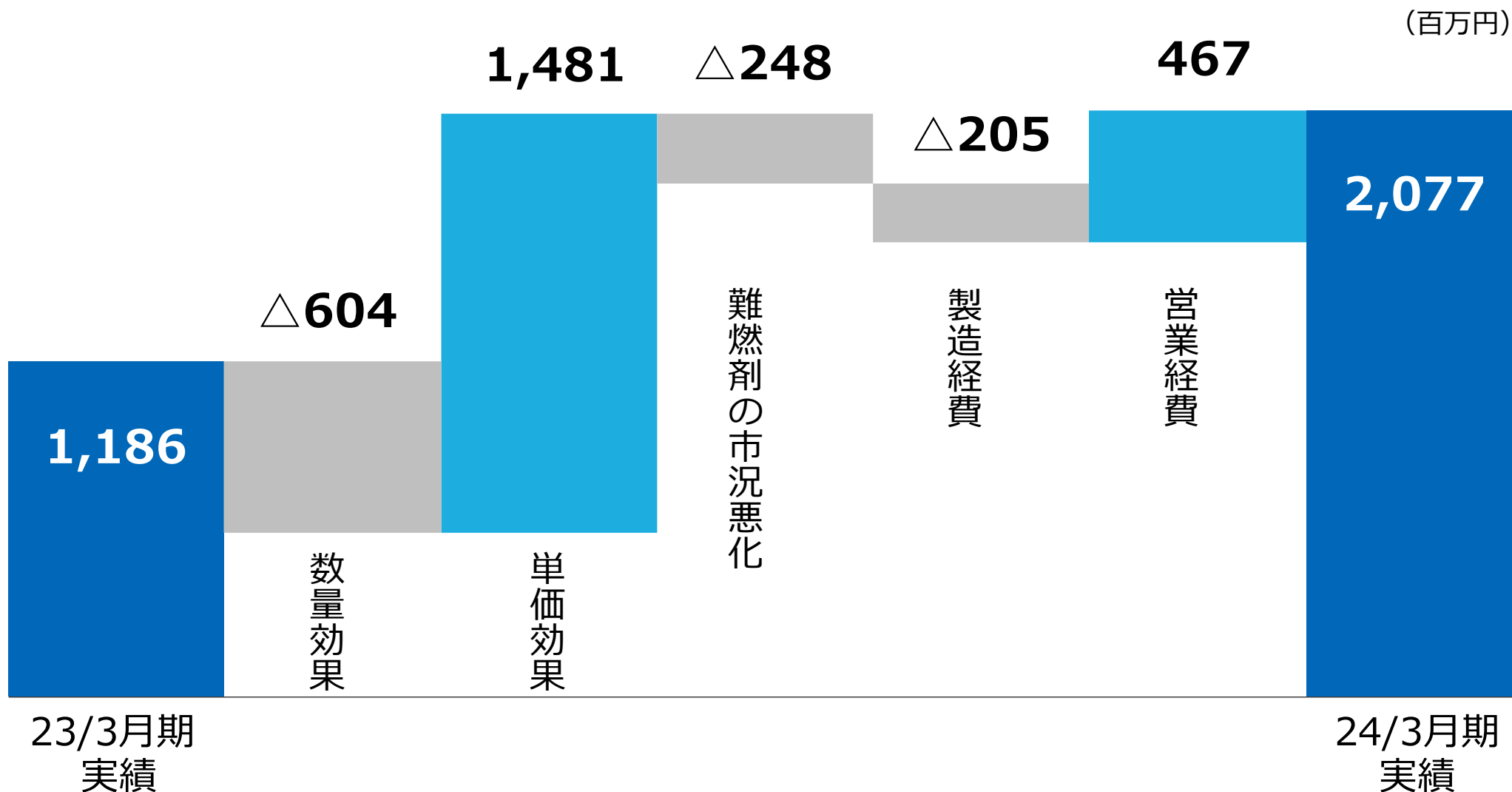


■ 界面活性剤 ■ アメニティ材料 ■ ウレタン材料 ■ 機能材料 ■ 電子デバイス材料 ■ ライフサイエンス

2024年3月期 営業利益増減分析



- * 販売数量減少
- * 原材料価格の高騰による値上げ活動
- * 難燃剤の市況悪化による影響額
- * 工場稼働率の低下による固定費増加
- * 販売活動及び研究開発費などの経費削減

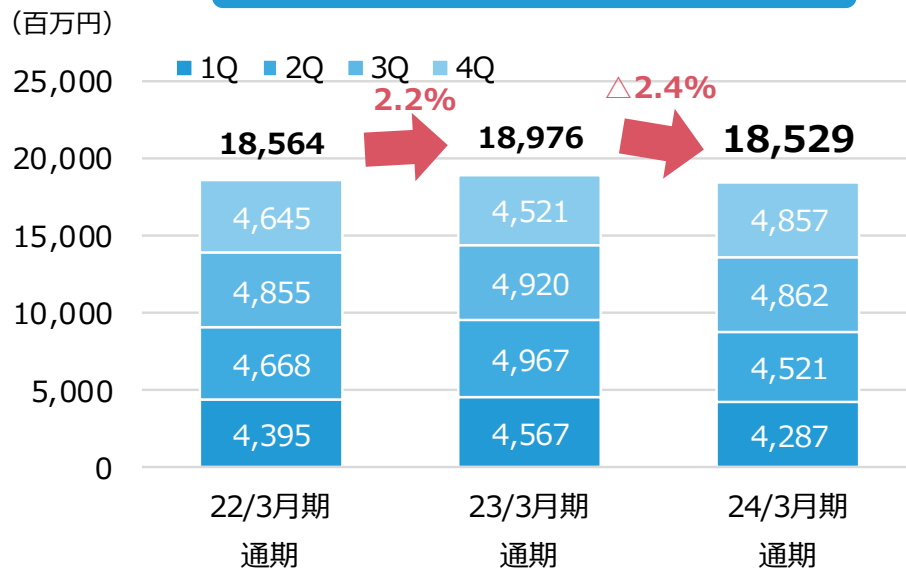




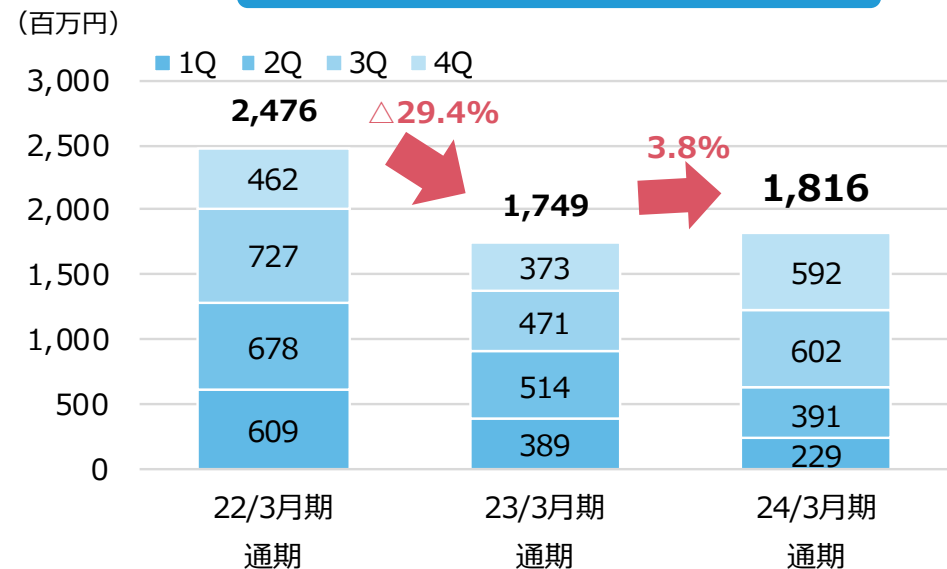
連結 セグメント業績 界面活性剤

1909年の創業以来、高機能界面活性剤を提供している事業です。

売上高



営業利益



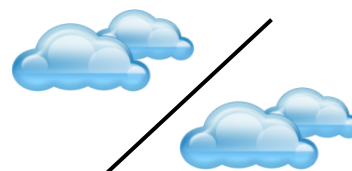
売上高：総じて低調に推移

- ゴム・プラスチック、塗料・色材用途：堅調に推移
- IT・電子材料用途：低調に推移
- 石けん・洗剤用途：大きく落ち込む

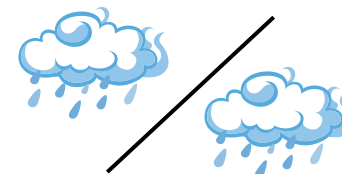
営業利益：増益

- 営業経費の削減

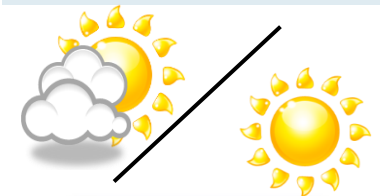
IT・電子材料用途



石けん・洗剤用途



塗料・色材

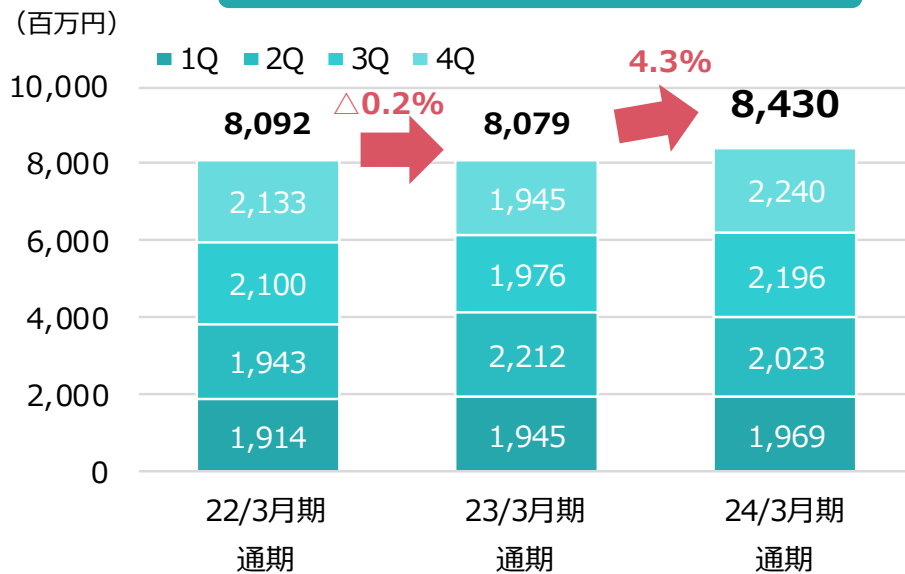




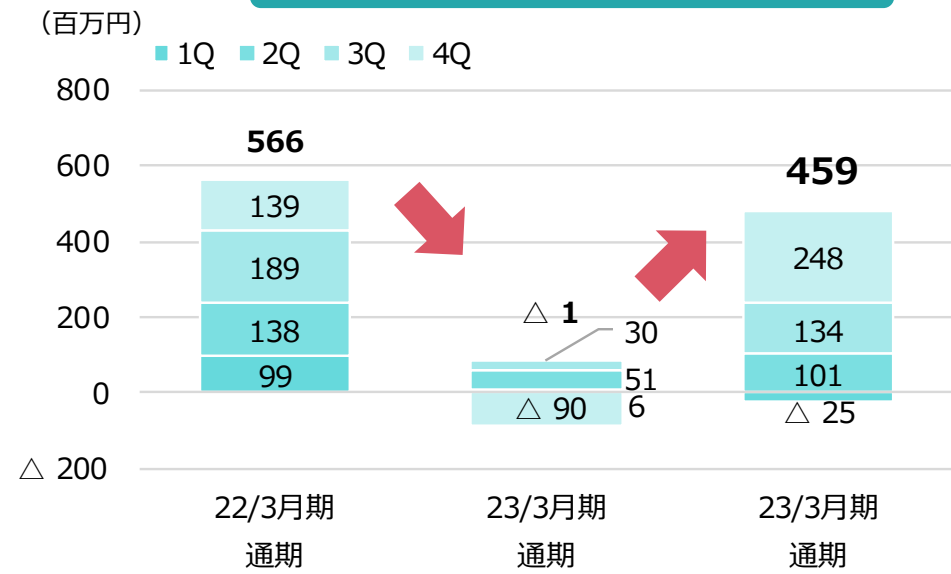
連結 セグメント業績 アメニティ材料

生活環境において快適性を求める材料や周辺応用技術を提供している事業です。

売上高



営業利益



売上高：総じて堅調に推移

- 食品・化粧品用途: ショ糖脂肪酸エステルは堅調
- エネルギー・環境用途: セルローズ系高分子材料は低調に推移

営業利益：増益

- 営業経費の削減

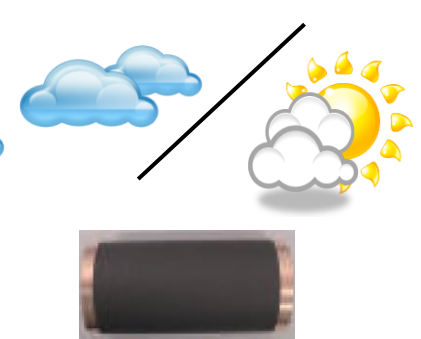
化粧品用途



食品用途



エネルギー用途

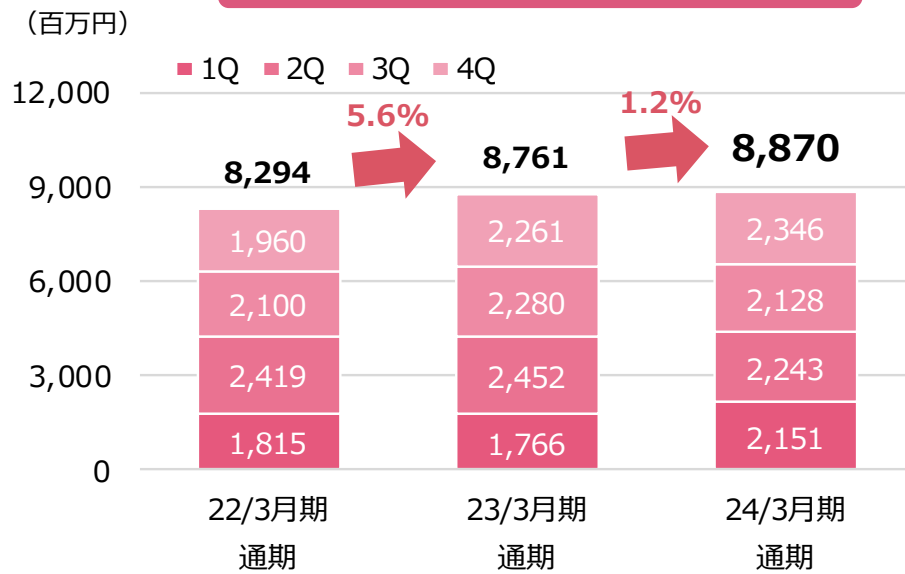




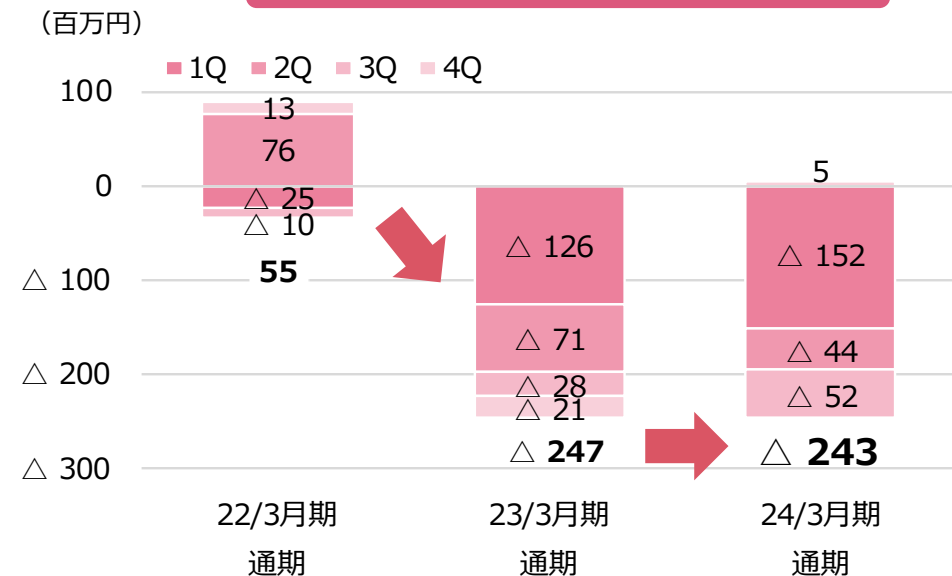
連結 セグメント業績 ウレタン材料

土木・建築材料、塗料、接着剤、電気絶縁材料などウレタン用原料を提供している事業です。

売上高



営業利益



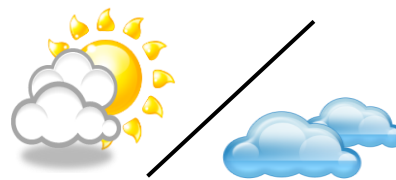
売上高：総じて堅調に推移

- IT・電子材料用途：堅調に推移
- 土木薬剤用途：堅調に伸長
- 合成潤滑油：低調に推移

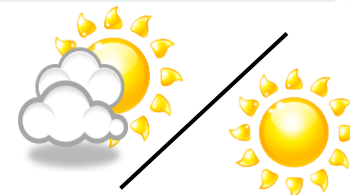
営業利益：営業損失

- 原材料価格の高騰による影響

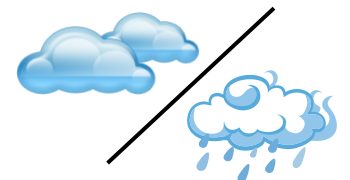
IT・電子材料用途



土木用薬剤:岩盤固結



合成潤滑油



連結 セグメント業績 機能材料

マークの見方:凡例

売上高

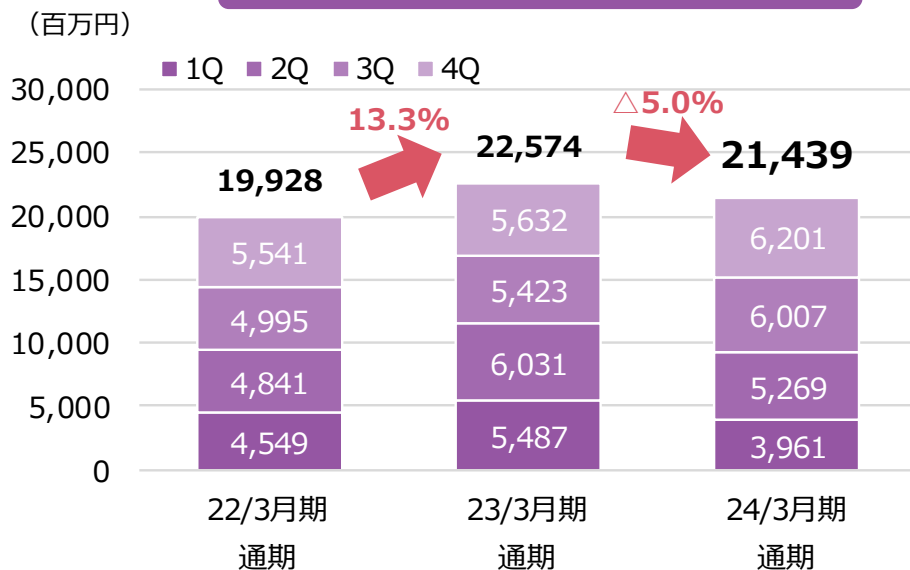


営業利益

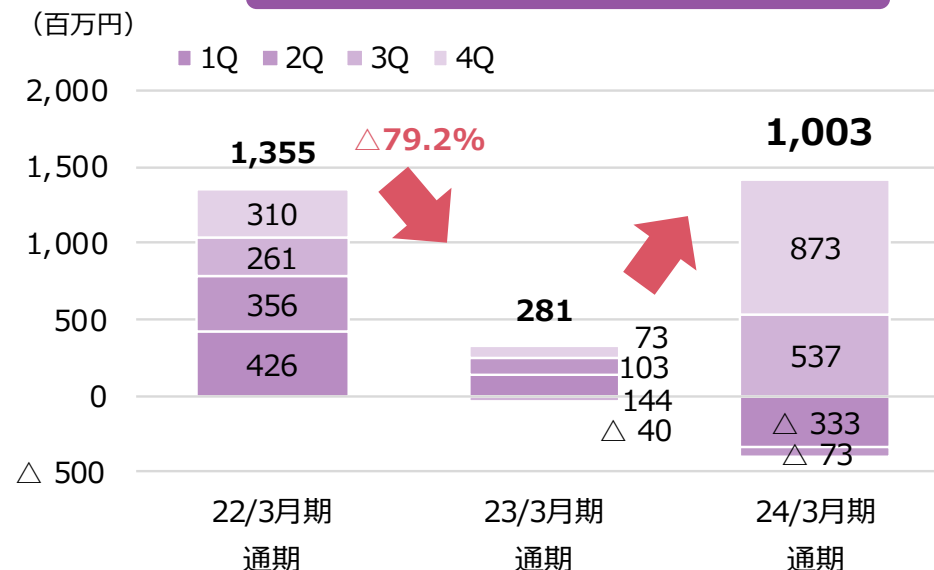


家電製品や生活の必需品用途に、難燃剤、光硬化樹脂や水系ウレタン樹脂などの製品を提供している事業です。

売上高



営業利益



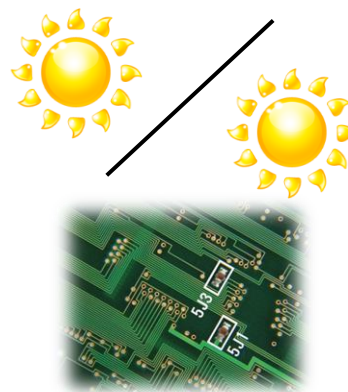
売上高：総じて低調に推移

- 電子材料用途：大幅に伸長
- ゴム・プラスチック用途：難燃剤は国内・海外共に大きく落ち込む

営業利益：増益

- 高付加価値品の大幅な売上高伸長
- 営業経費の削減

電子材料用途



プラスチック用難燃剤



連結 セグメント業績 電子デバイス材料

マークの見方:凡例

売上高

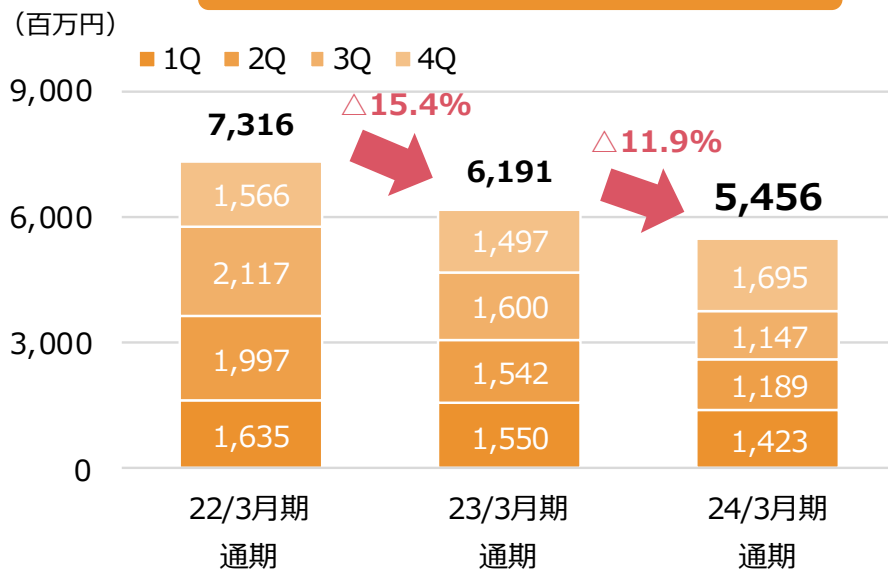


営業利益

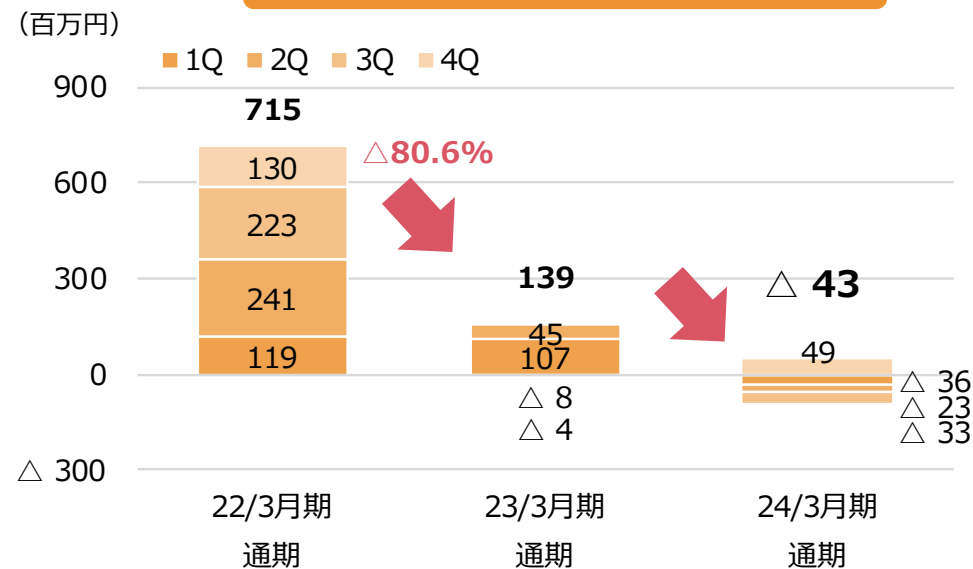


家電や電子部品用途に、セラミックス材料などを提供している事業です。

売上高



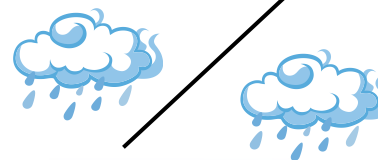
営業利益



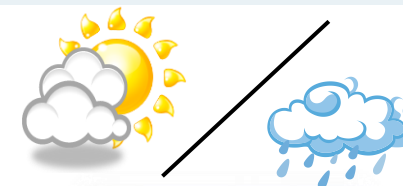
売上高：総じて大きく落ち込む

- 太陽電池用途：導電性ペーストは大きく落ち込む
- ディスプレイ用途：イオン液体は堅調に推移

太陽電池用途



ディスプレイ用途



営業利益：営業損失

- 売上高の大幅な落ち込み
- 営業経費の増加

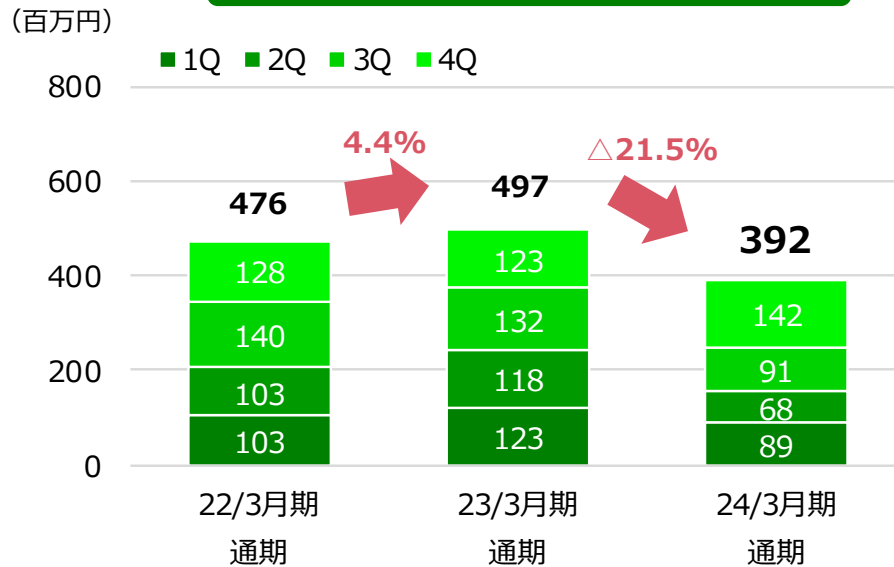


連結

セグメント業績 ライフサイエンス

天然由来の健康食品、天然物からの抽出・濃縮・粉末化の技術を提供している事業です。

売上高



営業利益



売上高：前期と比べ1億5百万円減少

- カイコ冬虫夏草：低調に推移
- 健康食品等の受託事業：低調に推移

営業利益：営業損失

- 売上高の大幅な落ち込み
- 研究開発費が先行

冬虫夏草



健康食品等の受託事業



(単位：百万円)

	2023年 3月末	2024年 3月末	増減額		2023年 3月末	2024年 3月末	増減額
流動資産	45,411	53,614	8,203	流動負債	20,639	25,159	4,519
現預金	9,128	16,126	6,997	仕入債務	10,351	12,542	2,190
売上債権	17,323	20,663	3,339	有利子負債	6,990	8,364	1,373
棚卸資産	16,637	14,141	△ 2,495	その他	3,297	4,252	955
その他	2,322	2,683	361	固定負債	26,089	28,081	1,991
固定資産	39,614	40,922	1,308	有利子負債	25,479	26,773	1,293
有形固定資産	32,743	32,467	△ 275	その他	609	1,307	698
無形固定資産	341	290	△ 51	負債合計	46,729	53,240	6,511
投資・その他の資産	6,529	8,164	1,634	純資産	38,296	41,297	3,000
資産合計	85,025	94,537	9,511	負債・純資産合計	85,025	94,537	9,511

連結 連結キャッシュ・フロー計算書の概要



(単位：百万円)

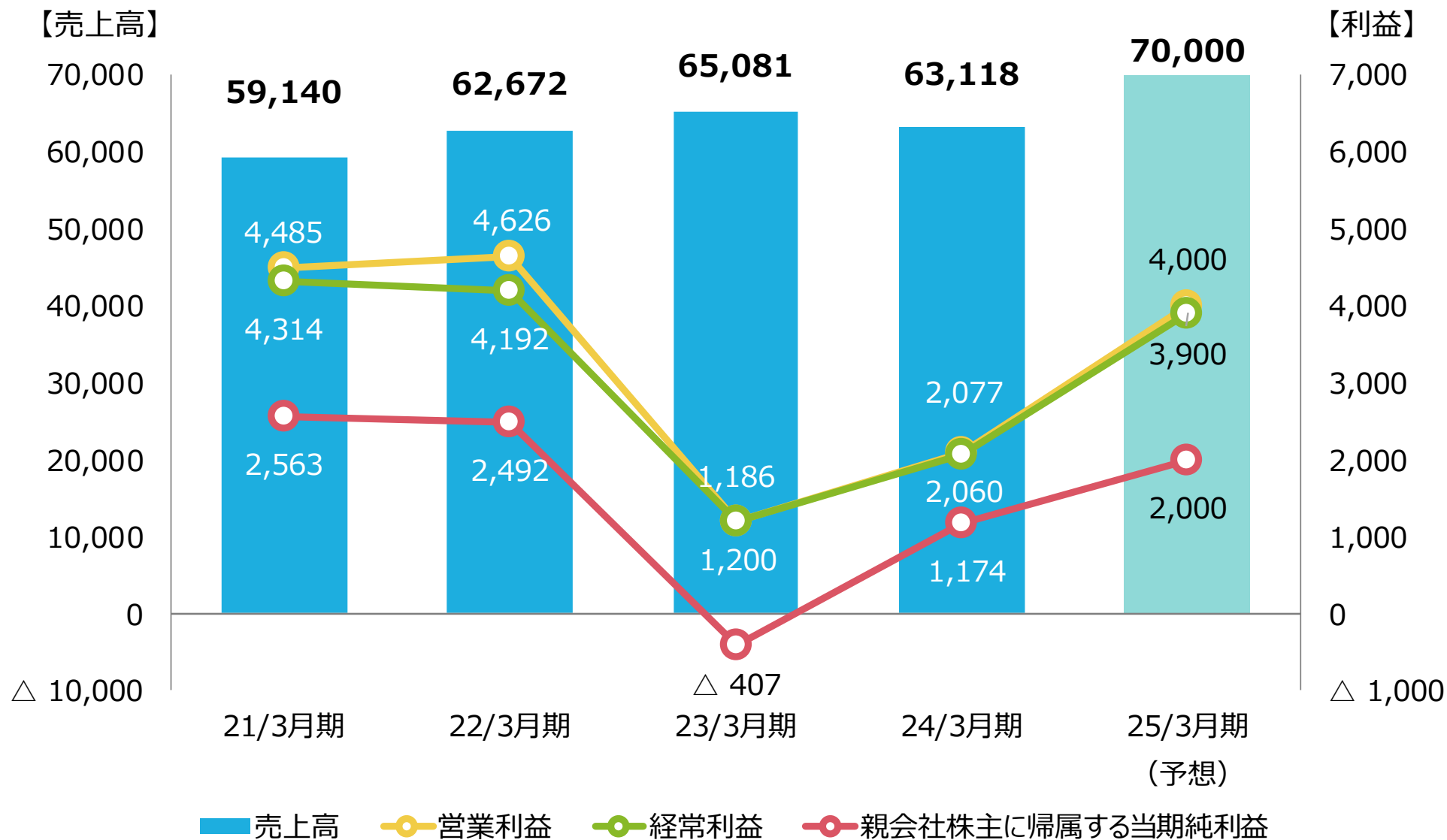
	23/3月期 通期	24/3月期 通期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	724	7,091	6,367
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,883	△ 2,008	874
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,030	1,646	2,676
現金及び現金同等物に係る換算差額	89	165	76
現金及び現金同等物の増減額(△は減少額)	△ 3,099	6,895	9,994
現金及び現金同等物の期末残高	9,051	15,947	6,895

2. 2025年3月期 通期 業績見通し

連結 連結業績推移および予想



(単位：百万円)



連結 当社を取り巻く環境(市況)



分野	状況	2025年 3月期
自動車・二輪	・ 堅調な需要を維持	
情報通信	・ ハイエンドサーバの需要は引き続き高い	
インフラ (鉄道)	・ 大型プロジェクトは計画より遅延も着実に進行	
ディスプレイ	・ ハイエンドTVは需要継続 ・ PC、タブレットは底入れの兆しで、スマホは底打ちし需要回復を見込む	
家電・住宅建材 (難燃剤)	・ 国内外ともに需要は引き続き低調 ・ 臭素、難燃剤価格は下落へ	

具体的な対策

- ①新規案件、需要回復への生産対応
- ②営業・研究活動の加速による次世代市場の開発
- ③原材料・エネルギーコストアップへの対応（価格転嫁）

連結 セグメント別売上高予想



セグメント	2024年3月期（実績）				2025年3月期（予想）				前期比増減	
	上半期	下半期	通期	構成比（%）	上半期	下半期	通期	構成比（%）	金額	増減率（%）
界面活性剤	8,809	9,719	18,529	29	9,000	11,000	20,000	29	1,471	8
アメニティ材料	3,993	4,436	8,430	13	4,000	4,500	8,500	12	70	1
ウレタン材料	4,395	4,474	8,870	14	4,500	4,500	9,000	13	130	1
機能材料	9,231	12,208	21,439	34	11,000	13,000	24,000	34	2,561	12
電子デバイス材料	2,613	2,842	5,456	9	3,800	4,200	8,000	11	2,544	47
ライフサイエンス	157	233	392	1	200	300	500	1	108	28
合計	29,200	33,918	63,118	100	33,000	37,000	70,000	100	6,882	11

連結 セグメント別営業利益予想

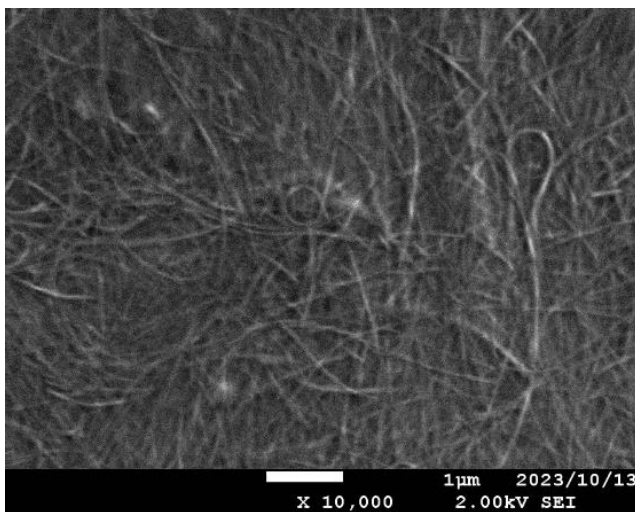


セグメント 単位：百万円	2024年3月期（実績）				2025年3月期（予想）				前期比増減	
	上半期	下半期	通期	構成比（%）	上半期	下半期	通期	構成比（%）	金額	増減率（%）
界面活性剤	621	1,194	1,816	87	800	1,200	2,000	50	184	10
アメニティ材料	75	382	459	22	200	400	600	15	141	31
ウレタン材料	△ 196	△ 47	△ 243	△ 12	△ 50	△ 50	△ 100	△ 3	143	—
機能材料	△ 407	1,410	1,003	48	1,100	1,250	2,350	59	1,347	134
電子デバイス材料	△ 60	16	△ 43	△ 2	△ 150	0	△ 150	△ 4	△ 107	—
ライフサイエンス	△ 482	△ 431	△ 914	△ 44	△ 400	△ 300	△ 700	△ 18	214	—
合計	△ 449	2,527	2,077	100	1,500	2,500	4,000	100	1,923	93

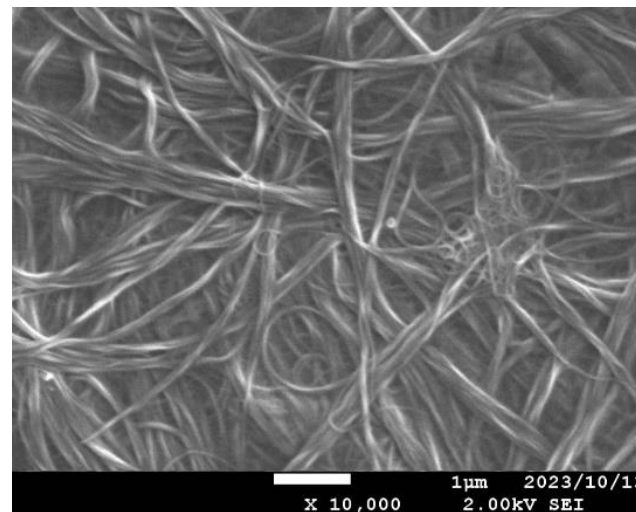
カーボンナノチューブ分散液「エレクセル®PCCシリーズ」を新開発！

高容量リチウムイオン二次電池用の導電剤として使用することで、繰り返し充放電後も導電パスを維持するため、電池の長寿命化を可能にします。

当社は、サステナブル社会の実現に向けたエネルギーの効率的利用や脱炭素化で重要となる素材開発を進めています。



エレクセルPCCシリーズ



汎用品

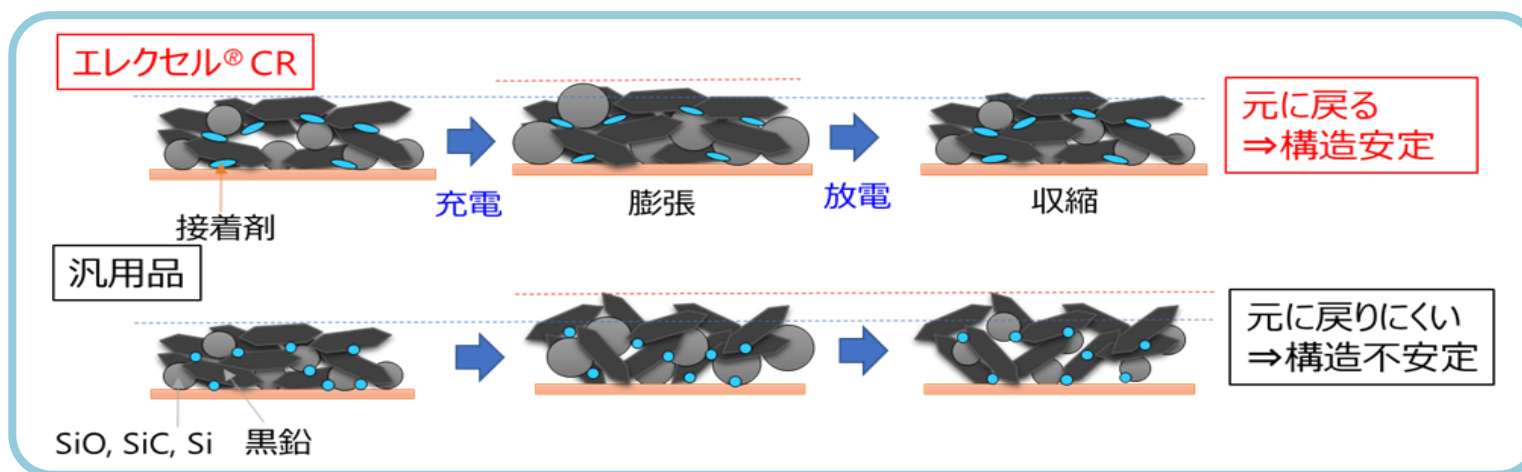
電界放出形走査型電子顕微鏡(FE-SEM)を用いた分散性観察評価(Cu箔塗布、倍率:×10,000)

[2024022701.pdf \(dks-web.co.jp\)](https://dks-web.co.jp/2024022701.pdf)

Lib負極用水系複合接着剤の生産体制を拡充

高容量リチウムイオン二次電池の負極用水系複合接着剤の生産体制を2024年3月より拡充しました。

伸長が期待される小型機器やEV分野への事業拡大をめざし、サステナブル社会の実現と環境負荷低減に貢献します。



充放電における開発品「Elexcel CR」と汎用品の電極の構造変化のイメージ図

「Elexcel CRシリーズ」は、シリコン系材料を少量から100%まで配合しても、安定した寿命特性を示します。樹脂の弾性率や強度のコントロールを行い、汎用品では難しい負極材の膨張収縮に適応する性質をもち、高い構造復元性を発揮します。

[2024030401.pdf \(dks-web.co.jp\)](https://dks-web.co.jp/2024030401.pdf)

令和5年度油脂産業論文「優秀賞」受賞

— クリケットオイルとアブラヤシ廃材の組み合わせによる超環境親和型ハイブリッドシステムの提案 —

<論文概要>

コオロギを用いた油脂生産と、パーム椰子房の残渣物であるパーム空果房の活用方法の同時提案

<得られる効果>

- ・CO₂排出量の削減
- ・食糧廃棄問題への貢献

当社は、環境問題と日本のさらなる経済成長へ貢献する材料開発を推進しています。

論文掲載のリンク(油脂工業会館)

<https://www.yushikaikan.or.jp/content/files/20240221%20Sanron%20Yuusyuu-2.pdf>

[2024031101.pdf \(dks-web.co.jp\)](https://www.dks-web.co.jp/2024031101.pdf)



2月21日 経団連会館にて
巽 康平 研究員
(研究本部研究カンパニー一部)

健康経営目標を掲げ、様々な取り組みを実施しています

様々な取り組み



DKS体操
毎日午後3時
一斉に体操！
運動不足解消
・肩こり改善に効果的！

社員食堂での昼食



美味しくて
健康的な
メニュー

私の健康宣言



・〇〇kg減量します！
・週1回テニスします！

ウォーキングイベント



1日数万歩の
つわものも…

成果(外部評価)



2024
健康経営銘柄
Health and Productivity
(5年連続)



2024
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500
(7年連続)



SPORTS
YELL
COMPANY
2024

スポーツエール
カンパニー認定
(5年連続)



DBJ健康格付

DBJ健康経営(ヘル
スマネジメント)格付
最高ランク取得
(7年連続)



きょうと
健康づくり
実践企業

2017年から
申請を開始
(6年連続)

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。

それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画、予測したものであります。

実際の業績などは、今後のさまざまな条件、要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

第一工業製薬株式会社

広報IR部 IRグループ

TEL: 03-3275-0654 E-mail: d-ir@dks-web.co.jp